

| | | | | | |
|--|---|--|---|--|--|
| 教科名 | 国 語 | | 科目名 | 国語総合 | |
| 履 修 単 位 | | | 履修条件（学年・コース・選択等） | | |
| 4単位（46分×週5コマ） | | | 1学年全員 | | |
| 使 用 教 科 書 | | | 補 助 教 材 など | | |
| 筑摩書房「国語総合」 | | | 随時使用 | | |
| 科目の ねらい | 国語を適切に表現し的確に理解する力を身に付け、思考力・想像力・表現力を伸ばす。また、古文・漢文等の文章に触れさせることで、生徒の視点を広げ、言語文化に対する関心を深める。 | | | | |
| 時 数 | 授 業 計 画 と 授 業 の 内 容 | | | | |
| 1 学 期 | 計 24 | 〈現代文〉 はじめに 評論 1 小説 1 | 「ある時間、待ってみてください」 「水の東西」 「羅生門」 | 大江健三郎 山崎正和 芥川龍之介 | < 1学期中間考査 > < 1学期期末考査 > |
| | 計 35 | 〈古 典〉 はじめに 古文入門 物 語 古典文法 | 「古典の森へ」 「児のそら寝」「絵仏師良秀」 「芥川」「東下り」「筒井筒」 歴史的仮名遣い・品詞分類・用言の活用 | 宇治拾遺物語 伊勢物語 | < 春期課題考査 > < 1学期中間考査 > < 1学期期末考査 > |
| 2 学 期 | 計 27 | 〈現代文〉 評論 2 随 想 小説 2 評論 3 | 「平等と対等」 「機械を捨て、まちへ出よう」 「清兵衛と瓢箪」 「言語と文化」 | 長谷川宏 小松正史 志賀直哉 池上嘉彦 | < 夏期課題考査 > < 2学期中間考査 > < 2学期期末考査 > |
| | 計 38 | 〈古 典〉 随 筆 随 筆 古典文法 | 「丹波に出雲といふ所あり」 「名を聞くより、やがて面影は」 「ゆく河の流れ」方丈記 係り結びの法則・係助詞・助動詞・「ば」の用法・音便 | 徒然草 徒然草 | < 夏期課題考査 > < 2学期中間考査 > < 2学期期末考査 > |
| 3 学 期 | 計 20 | 〈現代文〉 評論 4 小説 3 評論 4 | 「思考の停止、あるいはためのなさ」 「セメント樽の中の手紙」 「私時代のデモクラシー」 | 鷲田清一 葉山嘉樹 中村雄二郎 | < 冬期課題考査 > < 学年末考査 > |
| | 計 29 | 〈古 典〉 日 記 古典文法 漢文を学ぶために 漢文入門 故 事 思 想 | 「門出」「帰京」土佐日記 まぎらわしい語の区別 訓読の決まり 画竜点睛・朝三暮四・完璧 論 語 |  | < 冬期課題考査 > < 学年末考査 > |
| 評 価 の 観 点 | | | 留 意 事 項 | | |
| 下記内容を総合的に考慮して評価を行う。 a. 関心・意欲・態度 b. 話す・聞く能力 c. 書く能力 d. 読む能力 e. 知識・理解 | | | ・古典文法については、各考査において生徒の到達度を見ながら適宜範囲を指定し実施する。 ・上記計画は事情により変更されることがあり、また、時間数は進捗状況に応じて若干増減することがある。 | | |